

令和6年度 校内研修報告

1 テーマ 「ICTを活用した学習環境・相談体制の充実に向けて」

第1回 個別最適化された学びの実現に向けて

第2回 生徒が主体的に参加しようとする授業展開と学習環境のデザイン

第3回 生徒に対するきめ細やかな相談体制と学びの機会の提供

2 目的

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に取り組み、教員一人一人の指導力向上を図るとともに、児童・生徒の学力向上に資する。
- ・ 授業改善と教員の指導力向上に裏付けされた ICT を活用した 授業を充実させる。

以上の目的を達成するために、3回の校内研修会を通して、特に、次の2点について考える。

- ① 支援を要する生徒の理解と対応を土台とし、全ての生徒が学びを深める授業
- ② ICTを活用した授業の仕方を学び、主体的・対話的で深い学びの実践

3 日時

第1回	7月4日(木)	講師	千葉商科大学教授 川崎知己 先生
第2回	10月24日(木)	講師	千葉商科大学教授 川崎知己 先生
第3回	1月16日(木)	講師	千葉商科大学教授 川崎知己 先生

4 内容のポイント

第1回 すべての生徒が主体的に学びを深める授業を目指して、支援を要する生徒の理解と支援の観点を学んだ。生徒のつまずきを正しく把握することが適切な支援につながることを意識して、授業の中でICTをどのように活用していくかを考えることができた。

第2回 本校の生徒2名に焦点を当て、生徒の特性の理解と具体的なアプローチについて学んだ。教育支援としてICT活用が、①特性や学習の困難さをおぎなうための支援として使われているか？②学習内容の理解を促進するための支援として使われているか？③ICT機器の特徴が活かされているか？という観点で振り返ることができた。

第3回 様々な配慮が必要な生徒に対するきめ細やかな支援の在り方について理解を深めた。対面であっても、ICTを活用しても、感情に注意を向けて生徒の心を開き、関係性を構築していくことを、ロールプレイングを通して学んだ。

5 まとめ

3回の校内研修を通して、支援を要する生徒の理解と支援の在り方について学んだ。①個別最適化された学び、②主体的に学びを深める授業展開、③相談体制と学びの機会の提供の視点から、すべての生徒にとって効果的なICTの生かし方について考えることができた。今後も、支援を要する生徒の理解と対応を土台とし、すべての生徒が学びを深める授業を計画・実践していく中で、「主体的・対話的で深い学び」の充実を更に図っていく。